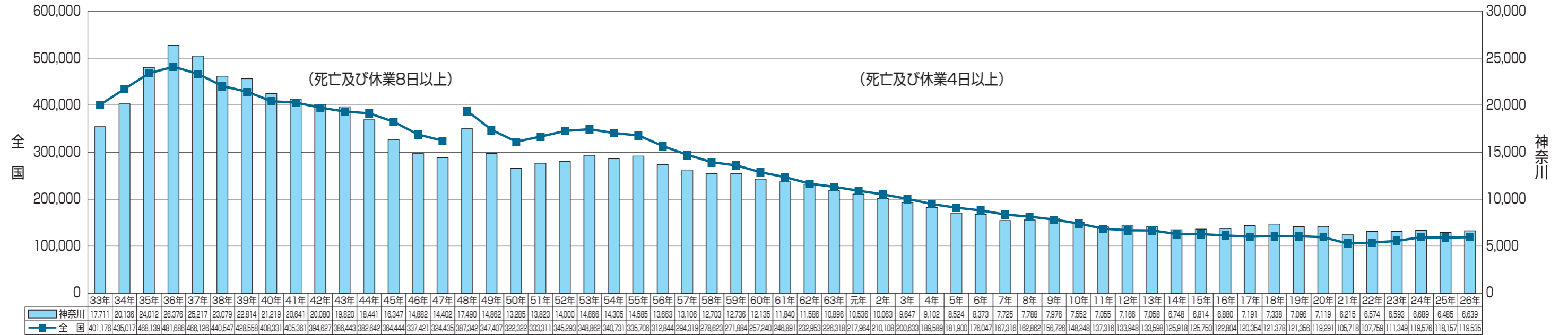


1 労働災害の推移

神奈川県における労働災害による死傷者数は、昭和36年の26,376人をピークに減少傾向にありましたが、平成22年、23年、24年は増加し、平成25年は一旦減少したものの、26年には24年の6,689人よりは少ないながらも増加し、平成26年は平成25年より154人多い6,639人に至っています。

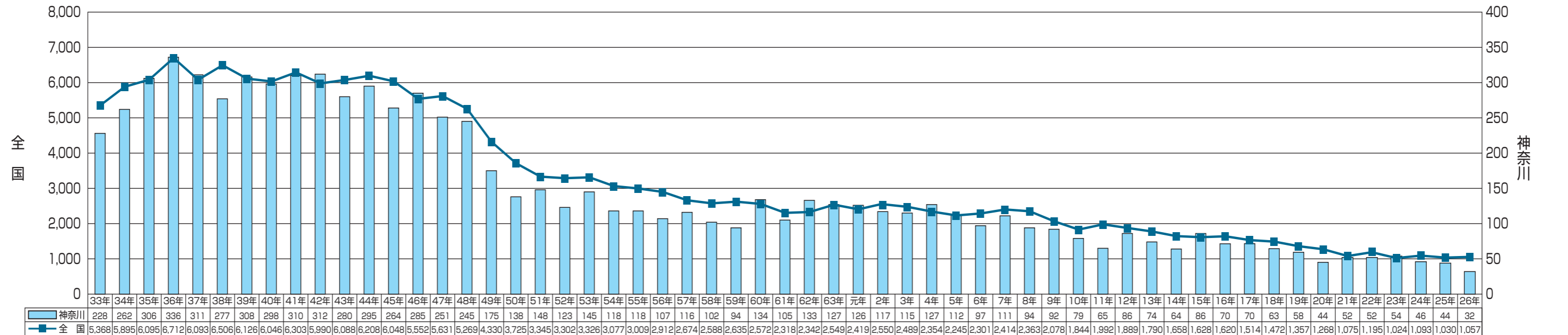
神奈川県における労働災害による死亡者数は、昭和36年の336人をピークとして、減少傾向にあります。平成26年は平成20年、25年のいままでの過去最小44人よりも12人少ない32人でした。

図1-1 労働災害による死傷者数の年次別推移



(全国データは労災給付データ及び労働者死傷病報告(労災非適)から作成。神奈川データは平成10年までは労災給付データ、平成11年以降は労働者死傷病報告から作成)

図1-2 労働災害による死亡者数の年次別推移



(死亡災害報告)

(平成23年は東日本大震災を直接の原因とする死亡者数を除いた数)